

第20回住宅系研究報告会

2025年12月13日(土)、12月14日(日)

会場：建築会館 日本建築学会・会議室（東京都港区芝5丁目26番20号）【要申込】

住宅・住宅系まちづくり研究にかかわる横断的な発表・討論の場を設定し、研究成果の共有、研究者間の交流を目的に、第20回住宅系研究報告会を開催します。本年度は38編の優れた論文が集まりました。研究報告会では発表・討論の機会を重視し、司会とは別にコメンテーターを設け、意見交換や議論を通してさらに研究や活動が発展することを目指しています。また、一日目にパネルディスカッションを開催し、総合的な議論の機会を設けます。住宅・住宅系まちづくりの研究・実践に取り組む方々のご参加をお待ちしています。

■1日目(12月13日)

10:00～10:10 開会の挨拶 益尾孝祐（愛知工業大学）

10:10～11:55 セッション1 住宅内外の活用・住みこなし

司会：深井祐紘（明星大学）、コメンテーター：前田昌弘（京都大学）

13:00～14:15 セッション2 近現代における歴史的住宅群の形成・変容・活用

司会：足立壮太（東京理科大学）、コメンテーター：関川華（近畿大学）

14:30～15:45 セッション3 集合住宅の居住実態と今後のあり方

司会：後藤智香子（東京都市大学）、コメンテーター：碓田智子（大阪教育大学）

16:00～18:00
パネルディスカッション 空き家を遊ぶ ―住宅の二次利用^{がく}楽―

パネリスト：西村周治（合同会社廃屋／西村組）
梅本修平（和歌山県有田市消防本部／辻本）
いとうともひさ（株式会社いとうともひさ）

コメンテーター：青木佳子（千葉商科大学）
益尾孝祐（愛知工業大学）

まとめ：友淵貴之（宮城大学）

趣旨説明：林和典（近畿大学）司会：青木佳子

企画・コーディネート：住宅系研究報告会 農村計画委員会・幹事

■2日目(12月14日)

9:30～11:30 セッション4 復興過程における居住・生活・地域の再構築

司会：青木佳子（千葉商科大学）、コメンテーター：浅井秀子（鳥取大学）

11:45～13:15 セッション5 住宅流通市場と居住者意識

司会：梅本舞子（筑波技術大学）、コメンテーター：内海康也（国土技術政策総合研究所）

14:00～16:00 セッション6 建築の再生・解放・活用

司会：林和典（近畿大学）、コメンテーター：友淵貴之（宮城大学）

16:15～17:45 セッション7 住宅地の構成・変容と地域特性

司会：青木嵩（大阪大学）、コメンテーター：斉藤圭（東京都市大学）

17:45～17:55 閉会の挨拶 山口秀文（神戸大学）

■参加費：会員 2,500 円、会員外 3,850 円、学生（会員） 1,000 円、学生（会員外） 1,100 円

資料別売（PDF・CD-R）：3,000 円 ■定員：80 名（申込先着順）／申込締切 12 月 10 日（水）

<https://news-sv.aij.or.jp/jyutakukei/>（会期中一度のお支払いで、両日とも参加可能です）

手話通訳等の個別支援について：ご視覚・聴覚・言語その他コミュニケーションに関する身体的な機能障害者へのサービスの提供を検討いたします。報告会での発表、並びにパネルディスカッションへの参加にあたり、手話通訳や要約筆記など、何らかのサービス提供が必要な方は、その旨、11 月 26 日（水）までに下記問合せ先にご連絡ください。なお、サービスの可否と制限については、申請状況や予算を勘案のうえ、後日、結果を通知いたします。

空き家を遊ぶ

住宅の二次利用^{がく}楽

我が国では空き家の増加が喫緊の問題となっており、令和五年時点で空き家戸数は九百万戸、総住宅数の十三・八%の割合となっている。悲観的にとらえれば大量の負債にもみえるが、楽観的に考えれば国民の一割が空き家を所有・活用すれば解決する問題ともいえる。近年では空き家を改修し、サードプレイスを自分で作る、二拠点生活を送る、仲間と集う場所をつくる、生活空間を拡張する、といった事例が増えている。空き家活用を促進するためには、まずは空き家を所有することの楽しさ、豊かさを知ることが必要ではないだろうか。

農村部の空き家は、質や状態にもよるが、数十万〜百万円程度で購入可能な空き家が数多く存在する。趣味の感覚で出すことのできる金額としては、新車を買うよりも安い。趣味の延長線上のように、まるで映画を見に行くかのように「空き家を遊ぶ」方法を知ることができれば、おのずと日本の空き家問題は解決するのではないか。本パネルディスカッションでは、利益を生むために「空き家を使う」のではなく、人生を豊かにし、楽しむために「空き家を遊ぶ」実践を行っている方々を招待し、空き家を遊ぶ方法について議論を行いたい。

2025 年 12 月 13 日 (土) 16:00 ~ 18:00

会場 | 建築会館・日本建築学会会議室 (東京都港区芝 5-26-20)

パネリスト = 梅本 修平 (和歌山県有田市消防本部/辻本)
いとう ともひさ (株式会社いとうともひさ)
西村 周治 (合同会社廃屋/西村組)

司 会 = 青木 佳子 (千葉商科大学)

主旨説明 = 林 和典 (近畿大学)

コメント = 益尾 孝祐 (愛知工業大学)
青木 佳子 (前掲)

ま と め = 友渕 貴之 (宮城大学)

参加費 | 会員 2,500 円、会員外 3,850 円、
学生 (会員) 1,000 円、
学生 (会員外) 1,100 円

※参加費は 2 日間の報告会参加費を含みます。
※手話通訳等の個別支援が必要な方は 11/26 (水) までに jjutakukei@aij.or.jp までお問い合わせください。

定 員 | 80 名 (申込先着順)

申込締切 | 12/10 (水)

申込方法 | クレジット決済による
Web 事前申込 (下記 URL)

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=713771>